

平成27年度 石垣島ダムまつり

平成27年7月5日(日)

～ オープニングセレモニー ～



石垣島土地改良区理事長・石垣市長 中山義隆 氏

5つの於茂登水源の融合

平成27年7月5日天気にも恵まれたこの日、石垣島にて石垣島ダムまつりが開催されました。まず始めのオープニングセレモニーでは、主催者を代表して石垣島土地改良区理事長中山義隆(石垣市長)の挨拶、その他多くの来賓の方々からの挨拶を受け、水の大切さやダムの大きな役割を再認識し、祭りは開催されました。

祭りの中では催し物も数多く行われ、ウェイクボード、バナナボート、カヌーなどの水にかかわるダム祭りならではの催しも行われ、子どもから大人までダムの魅力を十分に味わいながら楽しめる祭りとなりました。我が連合会からも暑い中、八重山支所職員は駐車場への誘導を担当し、汗を流した一日でした。来年のダム祭りの開催が待ち遠しい限りです。

～ 祭り全体の様子 ～





節目のダムまつり盛況

多彩な催しでにぎわい

名蔵

「太陽の恵み 世果報水 我島美し」をテーマに「石垣島ダムまつり」(同実行委員会主催)が6日、名蔵ダムで開かれた。湖面や堤体を利用し、カヌー体験をはじめ吹奏楽やバンド演奏も多彩な催しがあり、会場は大勢の家族連れでにぎわった。

農業用ダムの多面的機能のPRなどを目的に2006年から毎年開かれ、今回で10回目。

石垣島土地改良区理事長で実行委員長の中山義隆市長ら5人が、島内五つのダムから取水した水を一つのなるに注ぎ入れ、ダムの安全を祈願。中山市長は「湖面や堤体でさまざまなイベントが行われる。家族や友人、親子などで楽しんでダムの役割に関心を持ってほしい」とあいさつした。

湖面では、親子連れがのんびりとカヌーを体験したり、子どもたちがバナナボートでスピードとスリルを味わったりした。ウエイクボードコンテストでは参加者ののんびりとカヌーを体験する様子(午前10時前、名蔵ダム)

加者がダイナミックな技を競った。バナナボートを体験した鈴木一真君(大浜中1年)は「速くて、めちゃ楽しかった」

た」と話した。堤体では、子どもエイ展やダム周辺の生き物展、消放水体験などがあつた。

八重山毎日新聞

2015年(平成27年)7月6日(月曜日)より掲載